

ネットで探しても決め手が…

### 特集1

どの観光地も大差ないのでは？

日々の忙しさを忘れて旅したい！

土日旅行するならどこがよい？

# ヤンゴンから少し外へ！ 旅行会社が選ぶ！近場の旅

ミャンマーの乾季は、格好の旅行シーズン。海外や国内の遠い観光地に行くのもいいけど、ヤンゴンの近場にもけっこう楽しめるスポットがある。今回は半日や土日を利用して、気軽に行けそうなおすすめを日系旅行会社を選んでもらった。楽しい小旅行プランを立ててみてはいかが。

## ピンウールイン



ヤンゴンにない西洋の街並み 絶景の高原リゾート地へ

Pyin Oo Lwin

少し遠いが、土日休みを使ってぜひ行きたいのがマンダレー周辺の「ピンウールイン」。ヤンゴンとはガラッと違った、西洋建築の街並みやリゾートの雰囲気を感じることができるのが大きな魅力。そこには別世界が待っている！



### ★おすすめポイント3★

1. 19世紀末の植民地時代に造られた高原リゾート
2. 小型の箱型四輪馬車での観光
3. 別荘風の小規模コロニアルスタイルのホテル

1 街の中の移動手段は馬車、イギリス植民地時代の古い街並みが残る車道をのんびり進みたい。海拔1,100mの高地のため、時期に応じて寒さには注意  
2 高級感あふれる異国情緒に、時間を忘れてしまいたい。ホテルは小さい別荘を改装したタイプが多い  
3 4 1泊するなら「Aureum Resort Hotel」がおすすめ。2007年にオープンした、コロニアル風のレンガ造りのヴィラが特徴的な高級リゾートホテル

### 《提案！旅プラン》

- 1日目 (ex. 土曜日)  
[午前] ヤンゴン発 → 飛行機でマンダレーへ  
マンダレー発 → バスでピンウールインへ (約70キロ、2時間)  
[午後] ピンウールイン観光、ホテルのレストランで食事、一泊
- 2日目 (ex. 日曜日)  
[午前] ピンウールイン発 → マンダレー観光  
[夕方] マンダレー発 → 飛行機でヤンゴン着 [～夜]

マンダレーからの日帰り観光も可能だが、できれば1泊したい

### ◎ここも一押し！

★有名なペイチンミャアウン (洞窟寺院) はピンウールイン郊外にある。600mの鍾乳洞を利用した洞窟内には、国内の有名寺院を模した仏塔や仏像が納められている (車で20分)。  
★国立ランドマークスガーデンは、2006年に完成したテーマパーク。広大な敷地にミャンマーの見所が満載で、ここ1カ所を1時間ほど回れば、国内1周旅行した気分を楽しめる (馬車で15分)。

### 取材協力

JTB・Polestar MAP P18-C2  
#310, 3rd Floor, La Pyayt Wun Plaza No.37, Alanpya Pagoda Road, Dagon Township, Yangon  
☎ 01-382528 ✉ info@jtb.pst.com 🌐 http://www.jtb-pst.com

## チャウタン



半日のプチ旅行もOK 川の中州にある寺院は必見

Kyauktan

ヤンゴンから車で片道約2時間という好アクセスで、日帰りも可能な村「チャウタン」。普段見るパゴダとは違った装いの水に浮かぶ「水上寺院 (イエレー・パゴダ)」は一度この目で確かめたい。ピクニック気分はいかが。



### ★おすすめポイント3★

1. 車で気軽に行ける近さ (バスも有)
2. 周辺のおだやかな雰囲気と渡し船は、家族サービスにも◎
3. ヤンゴンに住んで半年くらいの忙しい人に最適！?

1 2 大きさに驚くことはないが、水上移動などは楽しい。ヤンゴンの近場スポットは少ないだけに、ここは貴重 [渡し船：往復5,000Ks・営業時間6:00～17:00] 3 寺院の一角では、川のなまずにあさ (ポップコーン) を与えて功德をつむ。外国人も気軽にできる、ローカルを体験しよう 4 5 水上寺院の船場周辺には露店などあり。魚の干物やココナッツジュースなど、ヤンゴンより安い。チャレンジしたい人はどうぞ

### ◎ここも一押し！

★ミャンマー各地の民族文化と観光名所を紹介するテーマパーク「ミャンマー民俗村」。ミャンマー各地の住居や暮らし、異なる民族文化を非常に気楽に堪能できる。ミャンマー人も一押しするヤンゴン郊外の代表的なスポット。ヤンゴンからチャウタンへ行く道中から至近。



### 《提案！旅プラン》

- [午前] ヤンゴン発 → 車でチャウタンへ 水上寺院で休憩ランチ (遠足気分持参がおすすめ)  
[午後] チャウタン発 → ミャンマー民俗村  
ミャンマー民俗村 → ヤンゴン着 [～夕方頃]

リーズナブルで、満足度高い

### 取材協力

MYANMAR NARA-APEX TRAVELS & TOURS  
No.64(B), Room No.B-4-L, Shwe Gon Plaza, Bahan Township, Yangon  
☎ 01-540096, 540097, 545701, 8603296  
✉ apex.mya@mptmail.net.mm 🌐 http://myanmarnaraapex.com

## バガン

Bagan



## ミャンマー定番の観光地 ひと味違うプランで楽しむ

ミャンマー観光のメッカとして人気の「バガン」。独特のパゴダや寺院の文化、美しき大自然を感じられる絶好のスポットだが、魅力はそれだけじゃない。バガンで現在唯一の日系旅行会社に、おすすめポイントを聞いた。



## ★おすすめポイント3★ バガンのリピーターも楽しめる

1. おしゃれな仏緬折衷料理のガーデンカフェ
2. ミャンマーでも指折りの本格的スパ
3. ポップ山にあるミャンマー屈指の高級リゾート

1 レストラン『Black Bamboo Restaurant』のオーナーはフランス人で、濃厚なミャンマー料理を万人好みの味にアレンジ。インレー産のグラスワインも、フランス人のオーナー厳選の味。また手作りアイスクリームも絶品！ 一度お試しあれ。[営業時間 9:00~22:00]

## ◎ここも一押し！

★スパ『Thiripitsaya Spa』は、個々に合わせたトリートメントを提供。天然オイルやハーブだけを使用。サービスと雰囲気素晴らしく、女性のケアを意識した高級スパは国内でも屈指。[営業時間 10:00~22:00]

★ホテル『Poppa Mountain Resort』は、バガンから1時間半のポップ山に位置。ロケーション抜群。ここから眺めるポップ山は絶景。乗馬やトレッキングなどアクティビティも豊富で、ミャンマーでもトップクラスの高原リゾートといえる。宿泊費もオールドバガンのホテルより手ごろ。

## 取材協力

Sara Travels &amp; Tours Co.,Ltd.

☎ 09-31605643 / 09-254083902 ✉ info@sara-tour.com

※「地球の歩き方」バガン特派員

★朝7時~9時までバガン・ニャウンウー空港の観光省インフォメーションセンター内で日本語ツアーデスク(観光案内ボランティア)を行っている。2014年4月以降はフライトの発着時刻に合わせて変更する予定。

★バガン支店は現在ニャウンウー地区の観光省 MTT オフィス内にある(移転する可能性あり)。その他詳細についてはお問い合わせください。

## 《提案！旅プラン》

## ■1日目

[午前] ヤンゴン発 → バガン(ニャウンウー空港)へ  
ニャウンウーマーケット散策、2,500基余り残る遺跡群を観光  
※オールドバガンを中心に自転車や電動バイク、馬車での観光が楽しめます

## 昼食

[午後] Thiripitsaya Spaにて本格マッサージ  
[夕方] シュエサンドーパゴダやエヤワディ川クルーズでのサンセット

## [夜] 夕食

(Black Bambooにて)、ホテル到着

## ■2日目

[午前] 車でポップ山へ  
精霊信仰の聖地を登山(階段で30分)  
昼食は高原リゾート Poppa Mountain Resort で絶景ランチ

[午後] バガンに戻る、フレスコ画が残る寺院などを見学

[夕方] バガン発 → 飛行機でヤンゴン着 [~夜]



ヤンゴン生活のリフレッシュなら、バガン市内より、郊外のパカンスを楽しんではいかが？

## グエサウン

編集部おすすめ

Ngwe Saung



## 安らぎのビーチリゾート 昨年 SEA Games 会場となり注目

都会の喧騒を逃れ、乾季にぜひ行っておきたい「グエサウン」ビーチ。海水の透明度も高く、白いなめらかな砂浜が続く。昨年12月はSEA Games(東南アジア競技大会)の会場になるなど、政府も力を入れる地にミャンジャポ編集部は着目！



## ★おすすめポイント3★ Ume cafe の佐藤麻衣さんが選ぶ

1. おだやかで美しいビーチと景観
2. 人懐っこい地元の人とのんびりした雰囲気
3. Ume CAFE の料理とファイヤーダンスショー

1 のんびりと休暇を過ごしたい欧米人に人気で、雨季以外の10月から5月がシーズン。バンガロー式のホテルがビーチ沿いにずらり。2 ビーチの南端にある小島 Lovers Island。ここへは引き潮になると海を歩いて渡れる。夕陽をバックにロマンチックな景観も。3 ヤンゴンからグエサウンに直行も可能だが、バスの本数は極めて少ない。パテイン町を経由すれば、伝統工芸の手作り傘工房などを楽しめる

## ◎ここも一押し！日本人もぜひ店へ遊びに来てください！

ミャンマー人の夫をもち、プロガーでもある日本人が経営する飲食店。ミャンマー人と欧米人のお客さんでにぎわう。夜のファイヤーダンスショーや、店独自の季節イベントもおすすめ(雨季は休業予定)。



## 取材協力

Ume cafe

Myoma Road between Silver View Resort &amp; Yamonnar Oo Hotel, Ngwesauung

☎ 09-425324652 ☺ 10:00~22:00 (LO 21:00) 無休

※ Facebook ページもあります。



## 《提案！弾丸1人旅プラン》 ミャンジャポ編集部が体験！

## ■1日目(ex.日曜)

[早朝] ヤンゴン発 → バスで近隣の町・パテインへ(朝8時頃)  
パテイン観光

[昼前] パテイン発 → バイクタクシーでグエサウンへ(約2時間)  
グエサウンビーチ、Lovers Island に渡る、Ume cafe へ

[夕方] グエサウン発 → バイクタクシーでパテインへ

(夜になると道中の山道で象に襲われる?ため、日が暮れないうちに)

## [夜] パテイン1泊

## ■2日目(ex.月曜)

[早朝] パテイン発 → ヤンゴン着 [~朝8時頃]

[夕方] バガン発 → 飛行機でヤンゴン着 [~夜]

## ? 旅行会社に聞く旅のギモン?

## Q 旅をする時に気を付けることは?

国内線ももちろんのこと、バスやホテルで外国人はパスポートの提示を求められることが大半。携帯をお忘れなく。



## Q ミャンマーの観光の魅力はズバリ?

パゴダや寺院、湖など伝統的な観光スポットはもちろんですが、少し足を伸ばせば高原リゾートやビーチなど、意外な雰囲気を堪能できる場所が多い。ミャンマー旅行を存分に楽しんでください。

[回答協力: JTB・Polestar]